

単 元 指 導 計 画 書

科目名（ 情 報 C ） 単元名（ 情報の管理と保護 ）

1 この単元で学ばせたいこと

- ・ 個人情報とは何かとともに、その管理や個人責任について理解する。
- ・ 携帯電話やコンピュータによるインターネットの世界では、便利で効率的に情報の検索などができる反面、計り知れない違法・有害サイトがあることを知り、自分を守ることの必要性を理解する。
- ・ インターネットにおけるフィルタリングの有効性を理解し、情報モラルに乗っ取った行動ができる。
- ・ 知的財産権における産業財産権の概要と具体的な事例などを理解する。
- ・ 知的財産権における著作権の概要と具体的な事例などを理解する。
- ・ 自分の生活の中で著作権の侵害がないか考えることができる。
- ・ 情報社会における、発信者・受信者としての責任を理解しモラルに沿った行動ができる。

2 この単元内の授業の流れ

- 1 時 情報モラルに関する DVD を見て、感想や気づきをまとめる。
- 2 時 前時のレポートを振り返りながら、個人情報と漏洩の実情を理解し、その対策や法律などを理解する。
- 3 時 知的財産権の中で産業財産権の種類と内容について理解する。
- 4 時 知的財産権の中で著作権の種類と内容について理解する。
- 5 時 著作権の侵害例と例外規定について理解する。
- 6 時 情報社会における様々な責任を理解し、自分自身の行動に結びつける。

3 単元内各時の授業のねらい

	関心・意欲・態度	思考・判断	技能・表現	知識・理解
1 時	・情報モラルDVD教材の内容に関心を持とうとしている。		・感想レポートをワードを使って、簡潔にまとめることができる。	
2 時		・匿名性のメリット・デメリットについて考えることができる。		・個人情報等の関連法令やフィルタリングについて理解している。
3 時		・商標権の具体例を挙げ、企業のブランド戦略などに結びつけることができる。		・特許権、実用新案権、意匠権、商標権の内容を理解している。
4 時			・知的財産権全般について教科書の表を参考に、ワードで自分なりにまとめることができる。	・著作者の権利、著作隣接権の概要を理解している。
5 時		・著作権の侵害と例外規定をそのケースごとに区別し、なぜそうなのか根拠をもとに判断することができる。		・様々な事例が、関連法令のどの部分に当てはまるか理解している。
6 時	・インターネット利用者としての良識と自主性を持ち、ネチケットを守った行動をする。	・具体的事例の中どのような自己責任が発生するか判断できる。		